

M o r i n o

M i y a k o n o

C r a f t F a i r

08

08

Morinomiyakono Crafts Fair

第8回 仙台・杜のクラフトフェア

会場
サンモール一番町商店街アーケード



仙台・杜のクラフトフェア
宮城県仙台市青葉区一番町2丁目 サンモール一番町商店街
・仙台市宮城地下鉄東西線「青葉一番町駅」南1出口よりすぐ
・JR「仙台駅」より徒歩で約15分
・仙台宮城インターより車で約10分

10/6 (金) 11:00~19:00

10/7 (土) 10:00~18:00

主催：仙台・杜の都のクラフトフェア実行委員会
後援：仙台市 河北新報社
協力：サンモール一番町商店街振興組合

今、人は多くの「モノ」と暮らしています。
工業製品の「モノ」人の手が多く関わった「モノ」
いろいろな「モノ」がありますが、
「モノ」の背景にある物語を知ること
人の生活はより豊かになると感じています。
日常生活の自然な流れの中で
「モノ」作りと出会って欲しい、
そんな願いで8回目となる
「仙台・杜の都のクラフトフェア2017」を
開催いたします。



Morino
Miyakono
Craft Fair

お問い合わせ先

メール
morimiya.cf@gmail.com
ホームページ
http://r.goope.jp/sendai-cf



出展作家に聞く

作品作りへの想い・考え・こだわり
使っていただく人へ伝えたい想い

出展作家 松坂 渉 2015.7. 印刷

父の仕事の関係で幼少期から鋳造の現場を見る機会が度々ありました。その際、硬い金属が自由自在な形状に変化する様子が感動した記憶があります。多分、その頃から金属という素材の魅力に引き寄せられたのだと思います。気が付いたら大学は金属工業の鋳造を専攻。以来、勤め先から独立後の今日に至るまでずっと金属と共にいます。現在は主に原型鋳造という技法を用いて作品のデザインから鋳造・仕上げまでを一貫して制作。原型に使用する蠟(WAX)の特性である熱可塑性を利用し、鋳を直接手の温もりで曲げたり、伸ばしたり、又は熱したヘラなどを使って溶かしたりする事で造形します。その為、時には柔らかく、時にはシャープに、そして繊細に表現することが可能です。これらの特徴を活かしつつ、より原型鋳造らしい作品を目指して原型制作・鋳造を行っています。鋳造は金属を溶かして制作した型に流し込み造形しますが、その金属を流し終わった型を割った際にイメージしていたカタチが出てきた時の喜びは何にも代え難いものなんです。もはや鋳造の魅力にどっぷりと浸かっていますね。作品に使用している主な金属は銅や銅合金です。これらの金属は人と同じ時間を共有しながら生きていくの様に、表情は勿論、時には金属自体の硬さまでもが変化していきます。作品と共に過ごし、歩いて行く時間を楽しくて頂ければ光栄です。



仙台・杜のクラフトフェアに対する想い

東北を拠点に制作活動する上で、より多くの東北の方々へ自分の作品を見て頂きたい。そんな想いで仙台・杜の都のクラフトフェアへ参加しています。今年で3回目の出展となりますが、仙台・杜の都のクラフトフェアへご来場下さるお客様と接する度、お客様のクラフトに対する熱意やこだわりを強く感じています。会場がアーケード街で天候に左右される事が無い分、よりお客様と深く作品についてお話が出来ます。その際、様々なアドバイスや刺激を頂き、それらを糧として次の制作へ活かしていく……この一連の流れが本当に有難いです。